



# 住みやすい まちづくり

施設職員全員参加で  
地域となじみの  
関係をつくる

岐阜県・社会福祉法人 墨友会  
特別養護老人ホーム サンヴェール大垣  
施設長 市橋 豊

## 法人概要、活動内容

法人概要	法人設立年	平成14(2002)年
	経営施設数	3施設
法人実施事業	種類ごとの経営施設・事業	特別養護老人ホーム:2 短期入所生活介護:3 通所介護:3 居宅介護支援:2 認知症対応型生活介護:1
	キーワード	地域と施設のふれあい、 安心・安全・快適
	開始年月	平成15(2003)年10月(喫茶サンカフェ) 平成19(2007)年11月(LED照明) 平成26(2014)年8月(うさぎの湯)
	対象者	地域住民、施設利用者、認知症の高齢者と家族、周辺福祉施設
	担い手 (職員体制)	職員5名(喫茶サンカフェ)、介護・看護職員で構成する行事委員会約15名
頻度・時間	喫茶サンカフェ:9:00~15:00(年中無休) LED照明:毎日(クリスマス時期は別仕様) うさぎの湯:日曜を除く毎日9:00~15:00(午前中は地域へ開放、午後は利用者などへ一般開放)	

## 喫茶「サンカフェ」の設立

当施設では、設立当初から喫茶「サンカフェ」を地域交流・地域貢献の場として位置付け、活動をしていきます(写真1)。「サンカフェ」は町の中にある、ごく普通の喫茶店という設定で営業許可をとり、席数を多く配置しています。また、当施設の職員が交代で「サンカフェ」のスタッフとして働いています。施設の利用者、家族、職員はもちろん、年中無休の営業で地域の皆様に利用していただける場所になっています。

「サンカフェ」では、「格安、安全で健康な食の提供」をめざして、介護職員や管理栄養士と話し合いを重ねメニューを豊富に考案していきました。そこから、岐阜県が監修する「ぎふ食と健康応援店マップ」に掲載されるようになりました。

「サンカフェ」は、気の合う近所の方同士や、当施設への面会訪問に

来ている家族や利用者、職員、当施設のボランティア、自治会や老人クラブの方がた、さらに近所の企業の会合、ミーティングでの定期活用など多くの皆様に多目的に利用していただいています。また、「サンカフェ」の目の前には当施設の事務局や居宅介護支援センターがあります。そのため、「サンカフェ」を利用していただく方がたと気軽に話すことができ、自然に交流ができています。そこから、介護に関する情報提供を積極的に行っています。

## さまざまな地域のかかわりを通して

定期的に開催している介護予防教室では、教室終了後に「サンカフェ」で教室参加者との座談会を必ず行い、感想などを意見交換しています。介護予防教室では施設職員が講師となり、座談会で地域の皆様と積極的にのかかわること、近隣地域の自治会などにも出かけるきっかけにつなげ

写真1 喫茶サンカフェ



ることができています。また、依頼があればすぐに介護予防などの出前講義を行うようにしています。こうした活動は次第に実を結んできて、「サンカフェ」からは常に笑い声が聞こえ、地域の皆様の社交場となっています。

最近では、大垣市より委託を受け、就職支援事業を運営、開催している近隣企業から、受講生全員に当施設

社会福祉法人 墨友会(以下、当法人)は、地域の皆様とのかかわりのなかで施設へ入りやすい、相談しやすい、利用しやすい、なじみやすい環境をつくっていくことを大切にしています。物理面だけでなく、感情面でのバリアフリーに取り組み、多角的に地域へアプローチすることを心がけています。施設のもつ社会資源を余すところなく生かすことが、地域貢献活動につながると考えています。そのような環境整備をしています。そのような環境整備をしていく際に、当法人がもっているものを活かし、時代と人に合わせて伸展させていくことで社会福祉法人の使命を達成できると感じています。

特別養護老人ホーム サンヴェール大垣(以下、当施設)はユニット単位での個別ケアをめざし、「施設」という一般的な概念を打破し、「自宅の延長線にある住居」をコンセプトとして平成15(2003)年に設立しました。